令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立大成小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区　　名	東成区
学　校　名	大阪市立大成小学校
学 校 長 名	中井　正夫

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和８年４月に、６年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

１　調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査内容

(1)　教科に関する調査

・国語

・算数

(2)　質問調査

・児童に対する調査

・学校に対する調査

３　調査の対象

・国・公・私立学校の小学校第６学年の原則として全児童

・大阪市立大成小学校では、第６学年　26名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立大成小学校の結果概要

本年度の全国学力・学習状況調査において、本校の平均正答率は、国語科・算数科ともに全国および大阪市の平均を下回る結果となった。全国および大阪市との差は、国語科ではそれぞれ－6.9ポイント、－5.0ポイント、算数科ではそれぞれ－5.4ポイント、－5.0ポイントであった。また、平均無解答率については、国語科では全国比＋0.3ポイント、市比－0.9ポイント、算数科では全国比＋5.1ポイント、市比＋5.5ポイントであった。これまでの学力向上に向けた取組に一定の成果が見られる一方、特に算数科においては、問題に対して最後まで粘り強く取り組み、解答する力に課題が見られた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語科】「知識及び技能」に関する設問の平均正答率は、全国および大阪府の平均を下回る結果となった。特に、「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、全国および大阪府の平均を8～10ポイント程度下回っており、語彙の習得や言葉の適切な使い方など、基礎的・基本的な知識及び技能の定着に課題が見られた。また、「思考力、判断力、表現力等」に関する設問のうち、「話すこと、聞くこと」については、全国および大阪府の平均を上回る結果となった。一方、「書くこと」については、全国および大阪府の平均を14～15ポイント程度下回った。
【算数科】「変化と関係」に関する設問の平均正答率は、全国および大阪府の平均を上回る結果となった。一方、「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」の各領域については、全国および大阪府の平均を下回る結果となった。特に、「測定」に関する設問では、全国および大阪府の平均を8～9ポイント程度下回っており、量の大きさや測定に関する知識及び技能の定着に課題が見られた。また、問題形式別に見ると、記述式の設問の平均正答率は、全国および大阪府の平均を14～15ポイント程度下回る結果となった。
　国語科・算数科ともに、正答数の分布を四分位区分で見ると、区分Ⅳ（正答数の低い層）の児童の割合は、全国・大阪府・大阪市の結果と比較して、13～17ポイント程度高い結果となった。このことから、正答数の少ない児童への支援を充実させ、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るとともに、児童一人ひとりの学力の状況に応じた指導を通して、学力の底上げを図ることが重要な課題である。

質問調査より

「早寝・早起き・朝ごはん」に関する項目のうち、「朝食を毎日食べている」については、肯定的な回答をした児童の割合が、全国および大阪府の平均を上回る結果となった。一方、「早寝・早起き」に関する項目では、否定的な回答をした児童の割合が高く、規則正しい生活習慣の確立に課題が見られた。また、「人が困っているときは、助ける」「困りごとや不安があるときに、先生にいつでも相談できている」「学校が楽しい」「友達関係に満足している」などの項目では、最も肯定的な回答をした児童の割合が、全国および大阪府の平均を上回る結果となった。このことから、児童の思いやりの心や、学校生活における安心感、友達や教職員との良好な関係がうかがえる。一方、「自分には、よいところがあると思う」や「授業でのPC・タブレットの使用頻度」に関する項目では、全国および大阪府の平均を下回る結果となった。

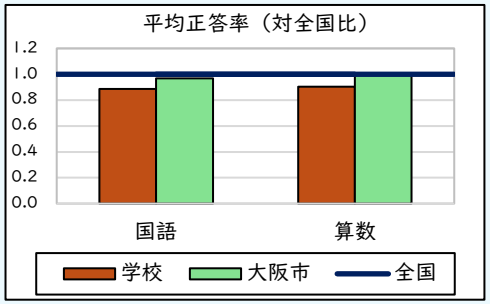
今後の取組（アクションプラン）

今後も、「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣の確立に向けて、家庭との連携・協力を図りながら取組を継続する。児童の基礎学力の向上を目指し、引き続き、児童にとって「わかる・楽しい授業」づくりに努めるとともに、自主学習ノートの活用や読書活動の推進に関する取組を一層深化・充実させる。課題となっている学力の底上げを図るため、習熟度別学習やチームティーチングによる指導を積極的に取り入れるとともに、ICT機器を効果的に活用し、個別最適な学びを実現し、児童一人ひとりの学力や学習状況に応じた指導・支援の充実を図る。

令和８年度　全国学力・学習状況調査　教科に関する調査結果の概要

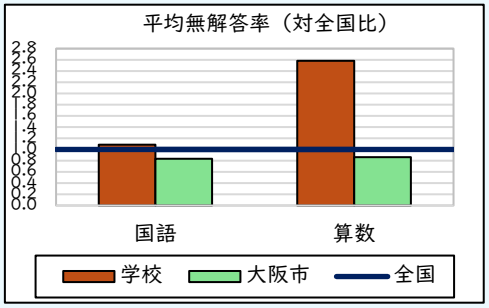
平均正答率（%）

	国語	算数
学校	54	51
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



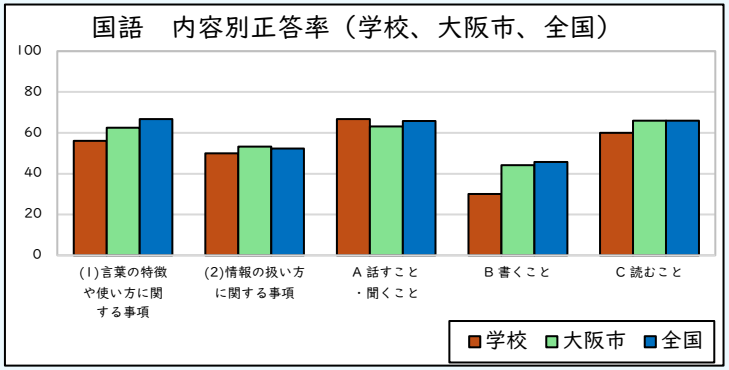
平均無解答率（%）

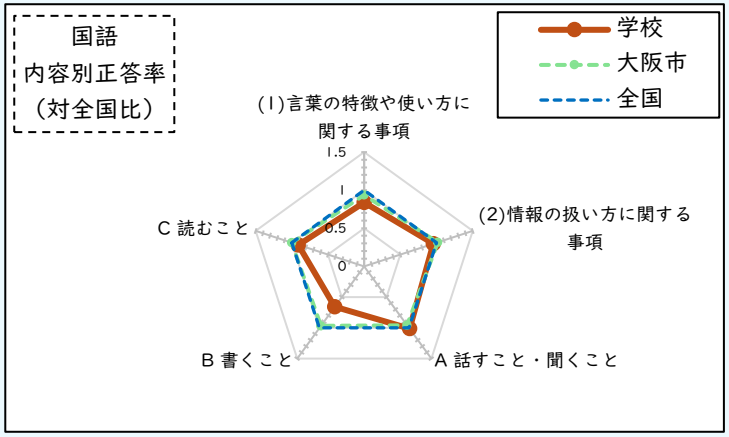
	国語	算数
学校	3.7	8.3
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



【国語】内容別正答率

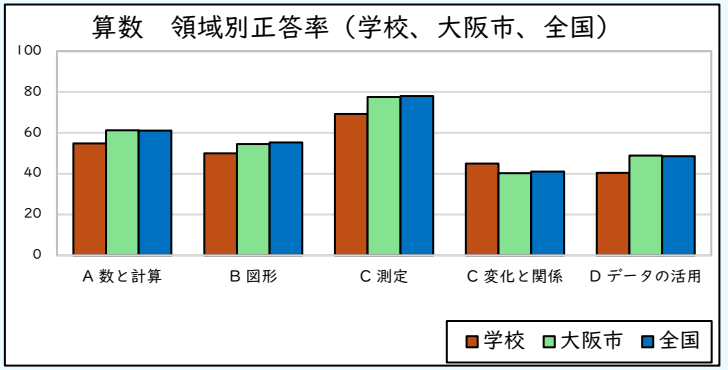
学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	56.0	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に関する事項	2	50.0	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	－	－	－
A 話すこと・聞くこと	3	66.7	63.1	65.8
B 書くこと	2	30.0	44.2	45.7
C 読むこと	2	60.0	66.0	65.9

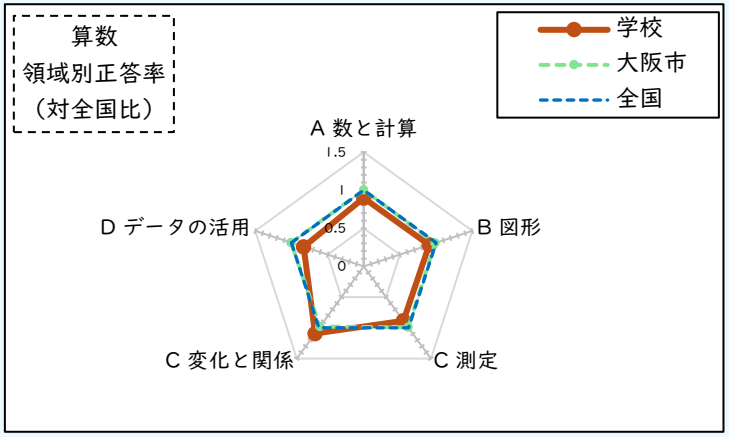




【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	54.8	61.2	61.1
B 図形	4	50.0	54.5	55.3
C 測定	1	69.2	77.5	78.1
C 変化と関係	3	44.9	40.3	41.1
D データの活用	4	40.4	48.8	48.6

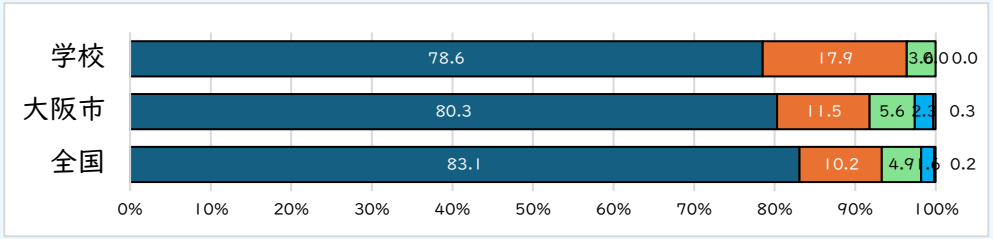


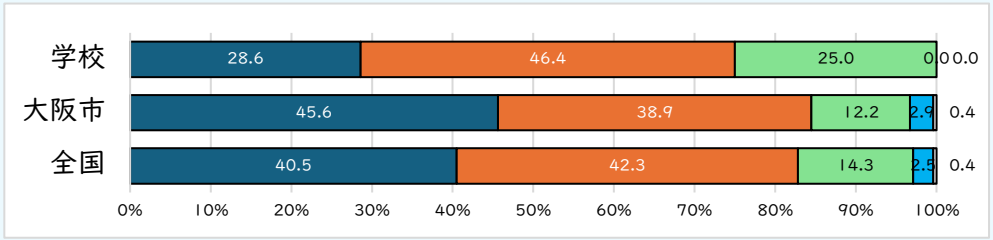


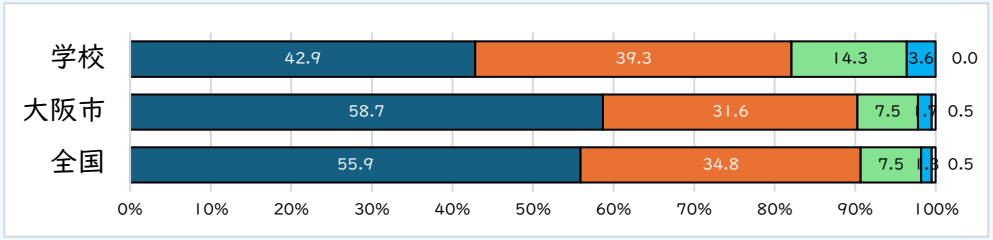
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より

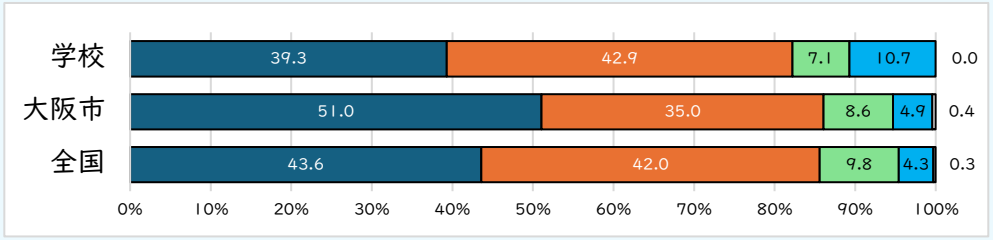
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

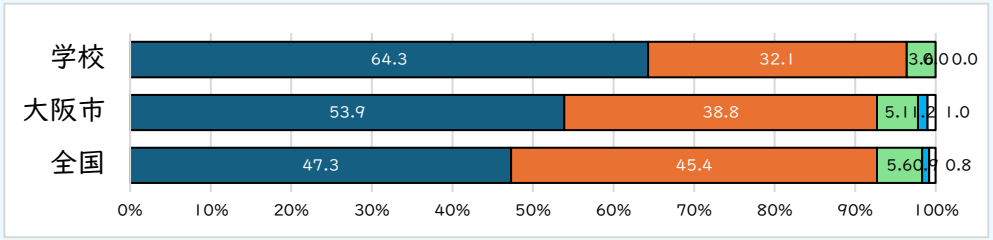
質問番号	質問事項
（１）	朝食を毎日食べていますか
（２）	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
（３）	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
（８）	自分には、よいところがあると思いますか
（１１）	人が困っているときは、進んで助けていますか











1 している
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

1 している
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

1 している
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

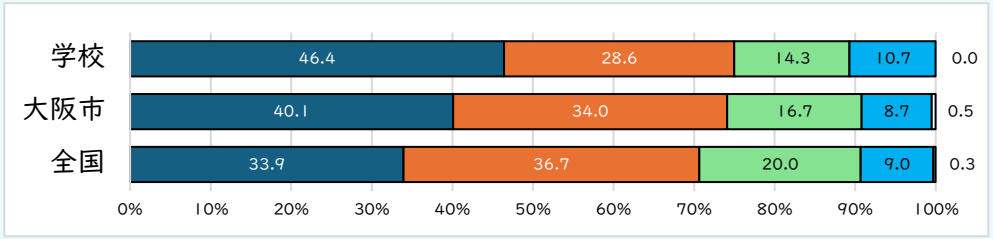
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

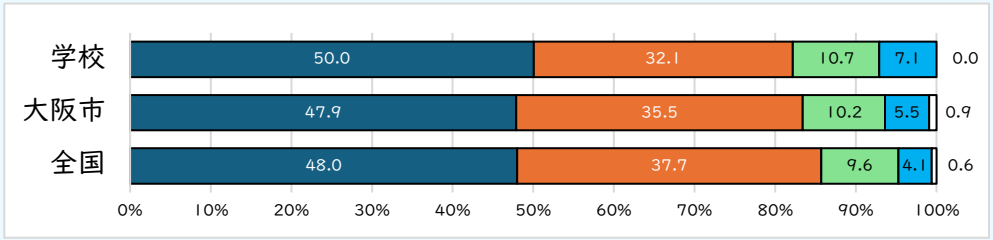
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

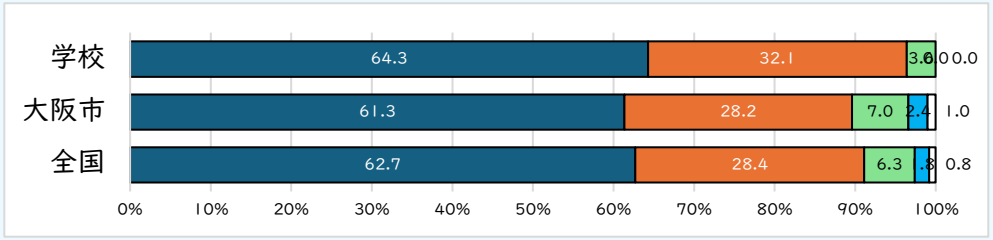
質問番号	質問事項
（13）	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
（15）	学校に行くのは楽しいと思いますか
（17）	友達関係に満足していますか
（21）	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか
（35）	５年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



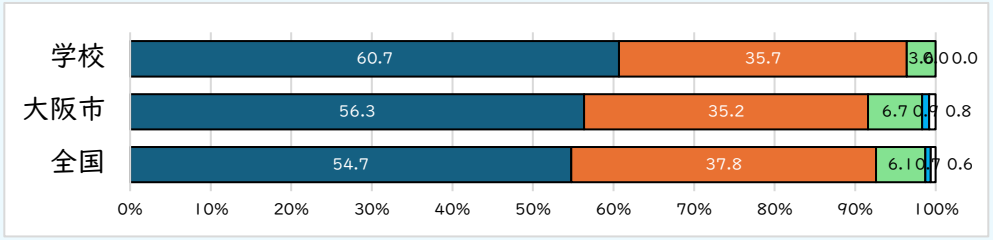
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



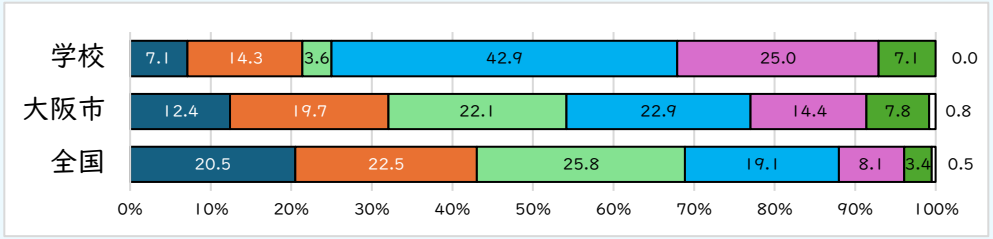
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 よくある
2 ときどきある
3 あまりない
4 全くない



1 ほぼ毎日（１日に複数の授業で活用）
2 ほぼ毎日（１日に１回くらいの授業で活用）
3 週３回以上
4 週１回以上
5 月１回以上
6 月１回未満

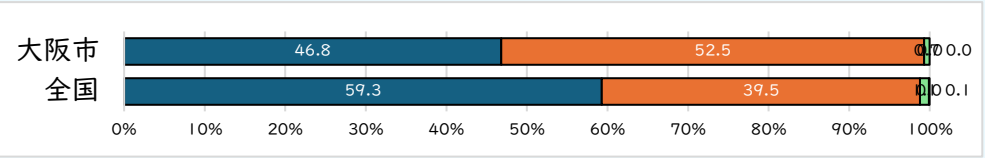
令和８年度全国学力・学習状況調査　学校質問調査より

1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

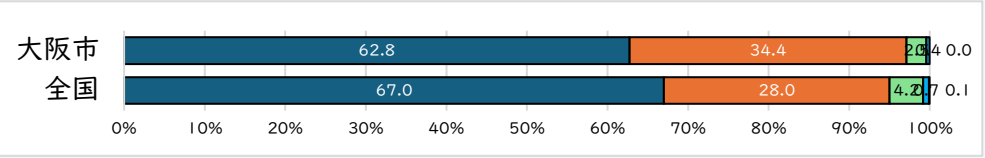
質問番号	質問事項
（11）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか
（13）	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか
（19）	学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員（支援スタッフを含む）の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか
（20）	今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多いですか
（28）	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

【学校の回答】　1　よく行った



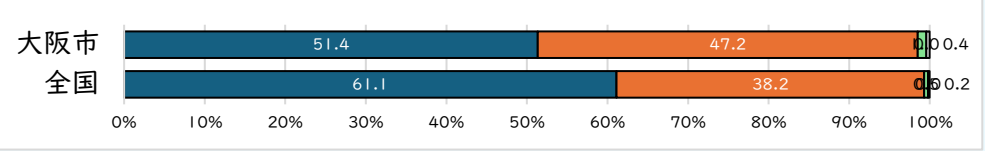
1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

【学校の回答】　1　そう思う



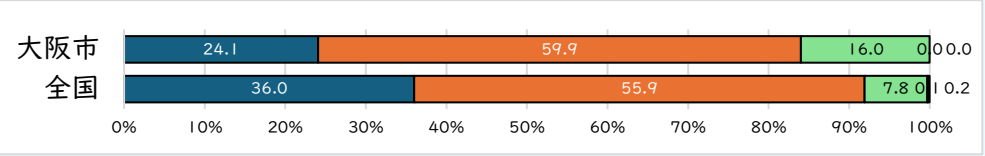
1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

【学校の回答】　1　そう思う



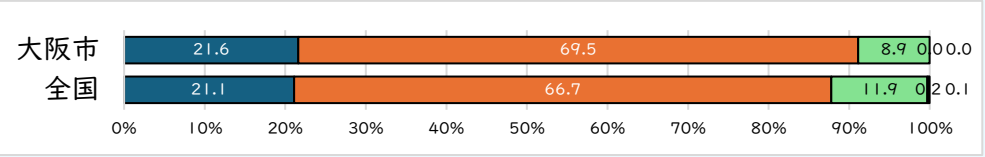
1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

【学校の回答】　1　そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

【学校の回答】　1　そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない